

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	システムデザイン演習
科目基礎情報					
科目番号	0015	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	産業技術システム工学専攻 (共通専門科目)	対象学年	専1		
開設期	通年	週時間数	1		
教科書/教材	参考になる図書, 情報, 文献などを自分, またはグループで探すことが必要となる。				
担当教員	鄭 耀陽, 小出 瑞康, 鈴木 晴彦, 植 英規, 車田 研一, 尾形 慎, 緑川 猛彦, 齊藤 充弘, 西口 美津子, 若林 晃央				
到達目標					
① 制約のある課題に対し多角的な解決手法を立案できること。 ② チームワークにより複数の知識と技術を融合し, 具体的な設計製作の計画ができること。 ③ 倫理的視野に立ち製作品の自然および社会への影響について考察できること。 ④ 「企画書」, 「モデル製作」, 「発表会要旨」, 「発表会」などによりプレゼンテーション能力を身につけること。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (D) 学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (F)					
教育方法等					
概要	専門の異なる複数の学生によって構成されるグループにより、現代の地域社会の抱える課題や、産業製品の必要性等を調査し、その課題解決に必要なアイデアや技術的手法、プロセス、具体的な製品・試作器のデザインや設計・製作、および社会的・産業的価値を評価する能力を育成するコース複合型PBL教育のための演習である。				
授業の進め方・方法					
注意点	PBL学習は、広範な知識や技術、また現実社会に対する多角的な視野をもって取り組む必要がある。よって、関係する授業やグループによる自学により「特許・意匠」や「商品価値」等についても学習しておくこと。また、「グループ編成」、「課題設定」等は、個人ワークとグループワークにより前期の段階で決定していく。「取組状況 (個人+グループ評価)」を50%、「報告書内容 (グループ評価)」を30%、「製作発表会 (グループ評価)」を20%とし、総合的に評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	本取り組みの概要, 社会実装	
		2週	アクティブラーニングとPBL	アクティブラーニング (AL), PBL	
		3週	PBL実践例	国内外におけるPBL事例, 前年度のSD演習の事例	
		4週	製品開発論概要	製品開発の流れ, マーケティング	
		5週	個人ワークによる課題探索	身の回りにおける課題の探索	
		6週	グループ形成	個人ワーク結果に基づくグループ分け	
		7週	アイデア発想法の基礎	ブレインストーミング, KJ法	
		8週	グループワークによる課題設定①	アイデア発想に基づくグループごとの課題設定	
	2ndQ	9週	グループワークによる課題設定①	アイデア発想に基づくグループごとの課題設定	
		10週	中間発表会 (1)	課題設定の状況確認	
		11週	グループワークによる課題設定②	文献調査やフィールドワーク等による課題の深堀	
		12週	グループワークによる課題設定②	文献調査やフィールドワーク等による課題の深堀	
		13週	中間発表会 (2)	課題の決定	
		14週	製作に向けた準備	購入部品の選定, 製作スケジュールの作成 中間報告書の作成	
		15週	製作に向けた準備	購入部品の選定, 製作スケジュールの作成 中間報告書の作成	
		16週			
後期	3rdQ	1週	グループ方針の確認	物品の納入状況, スケジュール等の確認と調整	
		2週	課題解決法の検討と製作	模擬実験や試作等による課題解決に向けた取り組み	
		3週	課題解決法の検討と製作	模擬実験や試作等による課題解決に向けた取り組み	
		4週	課題解決法の検討と製作	模擬実験や試作等による課題解決に向けた取り組み	
		5週	課題解決法の検討と製作	模擬実験や試作等による課題解決に向けた取り組み	
		6週	課題解決法の検討と製作	模擬実験や試作等による課題解決に向けた取り組み	
		7週	中間発表会 (3)	進捗確認	
	4thQ	8週	課題解決法の検討と製作	模擬実験や試作等による課題解決に向けた取り組み	
		9週	課題解決法の検討と製作	模擬実験や試作等による課題解決に向けた取り組み	
		10週	課題解決法の検討と製作	模擬実験や試作等による課題解決に向けた取り組み	
		11週	進捗報告	グループ間での進捗確認	
		12週	グループワークのまとめ	課題解決方法の社会的効果も考慮した企画提案資料の作成	
		13週	グループワークのまとめ	課題解決方法の社会的効果も考慮した企画提案資料の作成	
		14週	グループワークのまとめ	課題解決方法の社会的効果も考慮した企画提案資料の作成	

		15週	最終発表会		企画提案書の作成, プレゼンテーション		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	取組状況	報告内容	発表	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	30	20	0	0	0	100
基礎的能力	50	30	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0